

大幸薬品（大阪府吹田市）は26日、京都府精華町光台の関西文化学術研究都市内で京都工場の竣工式を開いた。9月から除菌製品「クレベリン」を製造する。主力の胃腸薬「正露丸」も4年後をめどに吹田工場（同）から生産移管する。

吹田工場が手狭になったため生産設備を移転、増強した。新工場は3階建て延べ約9千平方メートル。研究開発センターも併設した。投資額は約60億円。クレベリンは、現行の3倍となる月産百万個を計画している。正露丸は、国内や輸出先

大幸薬品が新たな生産拠点として建設した京都工場・研究開発センター（京都府精華町光台）



大幸薬品 学研に新工場
「クレベリン」など生産

の中国やタイなどでの販売認可手続きを経て、生産を始める。現在の生産量は1日700万～900万粒だが、京都工場は最大2倍に引き上げることができる。竣工式で柴田高社長は「学研都市でさまざまな研究者と交流し、技術革新を生み出した」と述べた。

（三村智哉）